

通期の業績見通し / 中長期的経営戦略

FULL-YEAR OUTLOOK / MEDIUM-TERM MANAGEMENT STRATEGY

1

通期の業績見通し

当グループは、自社の持つ小型・軽量・薄型・省電力といったコア技術を活用し、戦略事業の強化を推進します。

デジタルカメラは、スタイリッシュジャンルで引き続き高付加価値の新商品を投入すると共に、海外市場での拡大に向け普及価格帯モデルを投入、シェアの拡大と収益性の向上を推進します。

電波ソーラー時計はフルメタルモデル「OCEANUS」に、5モーターを搭載したクロノグラフや、初の女性をターゲットとしたモデルを投入するなどして着実な拡大を図り、世界マーケットにおける電波・ソーラー化を拡げ、営業利益の大幅アップを図ります。

電子辞書は、付加価値の高いモデルの比率を高め、利益率の向上を図ります。さらに海外では韓国、ドイツ、スペイン語圏に加え、新たに中国でも販売を開始し、海外のマーケットシェアを向上させ、世界の教育市場におけるトップブランドを目指します。

携帯電話は、今後もauでNo.1ブランドを維持するため、技術革新に対応した競争力ある商品を開発します。また、共通プラットフォームの構築などにより、開発コストとスピードを改善し、収益性の向上を図ります。

TFT液晶は、デジタルカメラのモニター向けを最先端スペックの投入により拡大すると共に、携帯電話向け比率を得意先の拡大により向上させ、引き続き生産性の向上に努めます。

2005年度の業績見通し（連結）

売上高	5,800億円（前期比 + 3.8%）
営業利益	430億円（前期比 +10.1%）
経常利益	370億円（前期比 +10.2%）
当期純利益	230億円（前期比 + 6.8%）

2

中長期的経営戦略

1.収益力の向上

当グループは、時計事業、コンシューマ事業（デジタルカメラを除く）、情報機器事業といった既に市場においてトップシェアを確保し、今後大きな追加投資を必要とせず、安定的なキャッシュ・フローの獲得が見込まれる事業を「基盤事業」、デジタルカメラ事業、通信事業（携帯電話）、デバイス事業（TFT液晶）といった、マーケットが今後世界的に拡大していくことが見込まれる反面、参入企業数も多く競争が激化している事業を「発展事業」として位置付けております。今後も「基盤事業」で安定的利益を獲得しながら「発展事業」の営業利益を拡大させ、全社の営業利益率10%の達成を当面の目標としてまいります。

2.財務体質の強化

当グループは、株主資本比率及びD/Eレシオ（有利子負債/株主資本）の改善を強力に推進しています。現在、株主資本比率が35.3%、D/Eレシオが0.70倍と、2002年度の28.7%、1.34倍から大きく改善しました。有利子負債残高も1,764億円から1,199億円と565億円の削減となり、3年間で500億円の削減目標を実現いたしました。今後も引き続き安定的かつ強じんな財務体質への転換を図ってまいります。

3.コーポレート・ガバナンスへの取り組み

当グループは取締役、監査役制度に加えて独自の執行役員制度及び内部監査制度によりコーポレート・ガバナンスを構築しています。経営の重要案件は取締役会、業務執行上の重要事項については執行役員会で審議します。また、監査役は内部監査部門や会計監査人とも連携を図り、厳正な監査を実施しております。株主や投資家の皆様へは、四半期毎の決算説明会、事業報告書、CSR報告書やホームページの充実などを通して、今後も迅速且つ正確な経営情報の提供を進めます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ当グループの経営方針にご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。